

2024年度

第12回 総会 議案書

● 日時 2024年5月25日（土） 午前9時30分～12時

● 場所 セイセイビル 401会議室

特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

(次 第)

総会

1. 開会

- (1) 司会による開会と進行
- (2) 事務局による総会成立の報告

2. 理事長挨拶

3. 議長選出

4. 議事

- (1) 議事録署名人の選任
- (2) 2023年度の活動報告
- (3) 第1号議案 2023年度事業報告及び事業収支決算報告
 - その1. 2023年度事業報告
 - その2. 2023年度収支報告及び決算
- (4) 第2号議案 2024年度事業及び事業収支予算
 - その1. 2024年度事業方針
 - その2. 2024年度事業計画及び予算

意見交換会

本総会議案は2024年4月27日及び5月11日の理事会で審議され決定された。

理事長挨拶

2025年6月で、生駒市立病院開院10周年となります。この節目の年を迎えるにあたり今年度は10周年に係る当NPOの活動と未来の生駒市の医療や介護・福祉を考える1年にしたいと考えています。

振り返ってみると2005年の旧生駒総合病院の突然の閉院は、病院職員・住民による医療の継続及び新病院建設を要望する3万筆を超える署名、地元医師会から生駒市に対する6回もの新病院建設要望書提出に繋がり、その後、「市民の病院をつくろう！」という市民運動へと発展しました。2008年7月、「市民の病院をつくろう！」と活動していたメンバーが中心となって「生駒の地域医療を育てる会」を設立（2013年7月、NPO法人化）、市民の病院は2015年6月に生駒市立病院として開院しました。以来、生駒市立病院のことだけに留まらず、生駒の地域医療のあり方について積極的に提言し、今ある医療機関や新病院を盛り立てていけるような市民参加の形を探る活動を行っております。なお、高齢社会を迎え、医療＝治療 という狭い範囲では課題を解決することができません。医療、介護、福祉など広い視野で医療を取り巻く環境について市民の視点で課題を発見し、市民主導で課題を解決する活動を目指しています。

具体的には「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」「ITの医療への活用を考えるプロジェクト」の3つのプロジェクトと、LINEオープンチャットを使い、市民と行政が意見交換できるプラットフォームを作るチームがあります。

この1年間で、それぞれのプロジェクト・チームの視点から、生駒市、生駒市医師会、生駒市立病院、市民が対話でき、未来の生駒市の医療を考えることができるプラットフォームづくりを促進します。その詳細については議案として各プロジェクトから具体案が示されています。

長年の懸案であり、また当NPOとしても進めていた生駒市立病院の生駒地区医師会と市医師会への入会が2024年4月9日付で達成されました。これは、今後の生駒の医療を考える上で大きなターニングポイントになると考えています。

生駒市は「大阪府生駒市」と揶揄されるほど、大阪へ通勤される方も多いです。「病気になれば大阪の病院に行けば良い」という、ある意味恵まれた現状もあり、生駒の医療に関心を寄せる人は少ないと言わざるを得ません。高度な医療も整っている大都市圏に近いというメリットがあります。しかし、自身が高齢になり大阪まで行くのが難しいとか、退職したらどうなるでしょうか？ 身近に信頼できる医療機関があることはこの町に住み続けるにはとても重要なことです。そのようなことを、人ごとではなく我ごととして皆さんと一緒に考えていく活動を行ってまいります。

冒頭で申し上げました通り、市民が希望して行政を動かし設立されたのが生駒市立病院です。ここを生駒の地域医療の拠点に据えて、今ある医療や介護の資源を最大限に生かす方法を皆さんで考えましょう。

この活動に関心がある方にはぜひご参加いただきたいと思います。

議事

議事録署名人の選任

議事録署名人として磯部理事及び熊谷理事を提案する。

2023 年度の活動報告

2023 年度の活動経緯

| 日時 | 内容 | 場所 | 参考：理事会の主な議題 (PJの活動は除く) など |
|--------------|--|---------------------------------|--|
| 7月1日 | 第11回総会 | たけまるホール 研修室1・2 (13:30-16) | 正会員 総数 24 出席者 16、委任状 3 |
| 7月1日 | 第1回理事会 | 同上(16-16:30) | 出席者：理事 9、監事、会員 1 議事：理事長/副理事長選任 業務担当決定 澤田理事退会 (正会員 23) |
| 7月7日 | 県に報告書提出 | | 奈良県協働推進課にメールで送付 |
| 7月21日 | ①介護PJ:地域医療課と懇談 ②オープンチャット担当：福祉政策課と懇談 | 市役所 | ①在宅医療について ②いこまる相談窓口の対応について |
| 7月22日 | 第2回理事会 | オンライン兼リアル(ららポート) | 出席者：理事 8、監事、会員 1 議事：①議事録の件 ②懸案事項(議事録公開・駐車料金)の件 ③自主学习グループフェスタの件 ④医労連の件 |
| 7月26日 31日 | HP更新 | | 内容：理事長挨拶、総会議案書・総会議事録等掲載 |
| 8月22日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | 傍聴：理事 1 |
| 8月26日 | 第3回理事会 | オンライン | 出席者：理事 7、監事、会員 1 議事：決定事項①～⑥ ①議事録作成者当番決定 ②理事会議事録は非公開に決定、総会に諮る ③理事会参加のみの場合、駐車場料金は支払わない、特段の事情がある場合は例外的な請求可とする ④介護PJから市に要望書を提出する ⑤LINEオープンチャットはPJ化せず、ラインオープンチャット |

| | | | |
|-------------|-----------------|---------|---|
| | | | チームとして活動する ⑥理事会録画を理事会全体で共有する |
| 8月29日 | 生駒市立病院管理運営協議会 | 市立病院 | 傍聴：会員2 |
| 9月8日 | 石堂理事との面談 | ららポート | 医労連の活動について話を聞いた。 |
| 9月23日 | 第4回理事会 | オンライン | 出席者：理事7、監事、会員1 議事：①介護PJ、意見書提出の件 ②フェスタの件 ③ららまつりの件 |
| 9月25日 | 介護PJ：意見書提出 | 市役所 | 提出先：生駒市介護保険運営協議会会長及び事務局 意見書内容：介護人材の数的把握と人材確保について |
| 9月28日 | フェスタ前日受付・展示 | たけまるホール | 理事2 |
| 9月29日～10月1日 | 自主学习グループフェスタ | たけまるホール | 展示撤去：理事1 |
| 10月3日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | 傍聴：理事2 |
| 10月24日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | 傍聴：理事1 |
| 11月12日 | 生駒市立病院健康フェスティバル | 市立病院 | |
| 11月21日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | 傍聴：理事2 |
| 11月25日 | 第5回理事会 | オンライン | 出席者：理事6、会員1 議事：①病院PJ 1/27ischool、PJ名称について ②高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画案パブリックコメント提出方法を決定③ネットPJの名称変更「ITの医療への活用を考えるPJ(略称IT-PJ)」承認 ④ららまつりは病院PJ担当 ⑤忘年会の件 |
| 11月28日 | 生駒市立病院管理運営協議会 | 市立病院 | 傍聴：理事1、会員1 |
| 11月28日 | 奈良県感染症対策連携協議会 | 奈良県医師会館 | 傍聴：理事1 |
| 12月2日 | 病院事業推進委員会 | 市役所 | 傍聴 理事1、会員1 |
| 12月23日 | 第6回理事会 | ららポート | 出席者：理事6、監事、会員1 議事：①高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画案パブリックコメントの件②病院PJ 1/27ischool「小児科医に聞く どうする？子どもの急病対応」 |

| | | | |
|--------|---|-----------------|---|
| | | | の件 ③ららまつり もしバナゲーム を実施 ④議事録書式の件 ⑤ららポート定期使用申請中止 |
| 12月23日 | 忘年会 | カルメシ茶屋 | 11人参加 |
| 12月21日 | 法務局 変更登記 | オンライン | 理事長 NPO 履歴事項証明書(県提出用) 申請 |
| 1月15日 | 第9期介護保険事業 計画についてのパブ リックコメント提出 | 市役所 | 事務局 |
| 1月23日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | 傍聴 理事1 |
| 1月25日 | NPO 履歴事項証明書 を県に提出 | 奈良県庁 | 理事長 |
| 1月27日 | ischool「小児科医 に聞く どうする？ 子どもの急病対応」 | セイセイビル | 講師：小児科医師 担当：病院PJ 共催：地域医療課、生涯学習課 託児あり 参加者：一般17(申込)、会員1 |
| 1月30日 | 自主学習グループ登 録説明会 | セイセイビル | 理事2 |
| 2月4日 | らら♪まつり | 北コミュニティ センター | 講座「ご存知ですか？ もしバナゲー ム」 担当：病院PJ 協力：市立病院看護師2 参加者：一般14、会員2 |
| 2月6日 | 介護保険運営協議会 | セラビーいこま | |
| 2月10日 | 病院事業推進委員会 | セラビーいこま | 傍聴：会員1 |
| 2月18日 | ケアリンピック・地 域共生社会推進全国 サミット in いこま プレイベント | セイセイビル | 理事3 |
| 2月19日 | 第70回医療審議会 | オンライン | 傍聴：理事2 |
| 2月24日 | 第7回理事会 | オンライン | 出席者：理事7、監事、会員1 議事：決定事項 ①次年度総会5月25日午前 ②次年度は自主学習グループに登 録しない ③議事録書式 |
| 2月29日 | 自主学習グループ 2023年度活動報告書 提出 | 市役所 | 理事1 |
| 3月6日 | ららポート登録申請 提出 | オンライン・ら らポート | 3/26 登録完了通知 |

| | | | |
|-------|---------------------|--------------|--|
| 3月16日 | 市立病院管理運営協議会 | 生駒市立病院 | 傍聴：理事1、会員2 |
| 3月23日 | 病院事業推進委員会 | 市役所 | |
| 4月27日 | 入会1名 | | |
| 4月27日 | 第8回理事会 | ららポート及びオンライン | 出席者：理事8、監事、会員1 議事：総会準備（総会議案書、当日の進行と担当、総会後の第1回理事会は開催しない）、PJ名称の提案と承認、議事録作成方法（継続して協議）、理事会次第作成プロセス確認と会員への送付了解 |
| 5月11日 | 第9回理事会 総会議案書発送作業 | ららポート及びオンライン | 理事会 議事：総会準備（総会議案書、その他） |

第 1 号議案・2023 年度事業報告及び事業収支決算報告

その 1. 2023 年度事業報告(2023 年 7 月 1 日～2024 年 5 月 24 日)

1-1. 2023 年度事業計画に基づく事業について

定款第 5 条(事業の種類)に基づき記述する。

(1)調査研究、提言などの事業 及び見学会、学習会、講演会などの事業 (定款 (1) (2))

(1-1)プロジェクトチーム (PJ) による活動

2023 年度の事業方針に基づき、3 つのプロジェクトとラインオープンチャットチームを軸に活動を展開した。

(A)「長期的な生駒の地域医療・生駒市立病院の将来像を考えるプロジェクト」(略称:病院 PJ)

<担当者>伊木ま理事・奥田理事

<2023 年度の活動総括>

2023 年度の総会方針、項目①②③は 2021 年度から変わっていない。これは 2018 年度第 4 回理事会(7/28)で PJ の設置が承認された時に説明した内容に基づいている。当 PJ は若い世代も含めた多くの人が医療を我ごととして捉え、考えることが重要で、多くの人と医療・地域医療のあるべき姿・将来像(生駒市立病院のあるべき姿・将来像を含む)について対話し、一緒に考えていくという方針で取り組んでいる。当 PJ の活動方針について、第 4 回理事会(9/23)で設立時の説明資料を示し再度説明した。また、これまでの略称では市立病院のことに取り組む PJ との誤解を生むことから、第 8 回理事会で新しい名称を提案、PJ 名を「生駒の未来につながる健康・医療 PJ (略称)健康・医療 PJ」とする事が承認された。

1. 2023 年度の総会方針は次の通り。

これまでの活動を進展させるべく、生駒市と協働で下記①～③をどのように進めるか検討する。

①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取(下記を全体で 3 回程度)

- ・ワールドカフェの実施
- ・もしバナゲームの実施
- ・おしゃべりサロン(オンライン、リアル)の実施

②地域医療構想を知る →①のためのベースになる知識

③市民・市・医師会・市立病院との対話 →①に含まれる

2. 昨年度の方針に対しての実績

・1/27 に実施した ischool「小児科に聞く どうする?子どもの急病対応」においては、市(生涯学習課、地域医療課)、医師会(生駒市医師会理事で休日夜間応急診療所所長の高田小児科医が講師)、市民が参加し、①③を実践できた。

・2/4 のらら♪まつりにおいて実施した講座「ご存知ですか?もしバナゲーム」では、市立病院に協力を要請したところ 2 人の看護師が参加、ACP(人生会議)についてわかりやすく説明いただいた。同看護師も加わり講座参加者と主に、もしバナゲームを実施した。

①③を実施できた。

- ・どちらの企画においてもアンケートを実施したが、好評だった。
- ・①で予定していたワールドカフェは、担当者に余裕がなく実施に至らなかった。
- ・②については、地域医療構想を包含する奈良県保健医療計画に関する審議が行われた会議(11/23 奈良県感染症対策連携協議会、2/19 第 70 回医療審議会)を傍聴した。

(B)「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護 PJ)

<担当者>長島理事・湯川理事・森永会員

<2023 年度の活動総括>

1. 2023 年度の総会方針は次の通り。
 - (1) 「総合事業」について
中地区での活動状況の把握から始め、当会で出来ることを見極めながら取り組む。
 - (2) 第 9 期介護保険事業について
第 9 期介護保険事業の作成段階では、昨年度生駒市長へ提出した第 9 期介護保険事業についての提言の内容が取り入れられるように努力する。
 - (3) 医療介護ネットワーク問題への取り組みについて
 - ①介護医療関係者の交流会の実施・・・昨年度延期になった交流会の実現に努力する。
 - ②医療介護ネットワークの分野で当会が取り組むべきテーマを改めて検討する。
 - ③在宅医療の実態を把握し、在宅医療の前進のために医師会に提案できる方策を地域医療課と協議する。
2. 昨年度の方針に対しての実績
 - (1) 「総合事業」について
コロナ後の中地区の自主的な活動について、当会として状況を共有できず協働には至らなかった。
 - (2) 第 9 期介護保険事業について
 - ・前年度より取り組んできた介護人材の人数把握と将来予測について、今年度も引き続き生駒市に対してその必要性和方法につき提案を行った。その成果として、生駒市として介護施設に対してアンケートを実施し、介護職員の人数を含む現状と課題についてアンケート結果を公表。それを受けて当会より具体的な介護人材の数量把握についての提案を行い、パブコメにも提案した結果、生駒市としての積極的な回答(※1)を得た。
(※1「人材確保の課題については今後においても重要課題であると認識しており、今回の事業所アンケートの結果や、国の示すワークシートを活用した 2025 年・2040 年に向けての人材推計は、本市のバックデータとして必要であると考えため、国からのワークシートのデータが公開されしだい、そのワークシートとの整合性等を図り、引き続き、試算、検証、整理等を行っていききたいと考えています。）」
ただし実際の人材確保策としては従来通りの消極的な施策にとどまり、当会提案の市民を交えた協議の場については応諾の回答は得られなかった。
 - ・本件に関する当 PJ の活動は次の通り。
 - ①介護保険運営協議会への当会会員の委員としての出席と傍聴。
 - ②生駒市介護保険運営協議会の川井会長及び事務局宛に当会介護 PJ より「意見書」を提出 (2023. 9. 25)。主な内容は、介護人材の数的把握、訪問介護員の数的把握、将来不足する人数を確保するための提案。
 - ③第 9 期介護保険事業計画案に対するパブリックコメントを当会理事長より提出 (2024. 1)。2024 年 3 月に回答あり。
 - (3) 医療介護ネットワーク問題への取り組みについて
在宅医療の実態把握から医療介護のネットワークへとつなげていくことを考えたが、上記パブコメの回答(※2)が示すように、医療分野では市町村段階での取り組みに限界を設けていることが分かり、その克服が課題として浮かび上がった。
(※2「医療については市町村独自で完結することは難しいことから、国や奈良県の動向を踏まえつつ、対応していききたいと考えています。」)

(C) 「IT の医療への活用を考えるプロジェクト」(略称:IT-PJ)

<担当者>長谷川理事

<2023 年度の活動総括>

1. 2023 年度の総会方針はつぎの通り。
 - (1) やまと西和ネットについて市民の理解と参加を推進する。
 - ①少人数でも説明会を開くような活動をする。

- ②医療・介護従事者がそれぞれの患者や利用者に対してやまと西和ネットに参加することを勧めてもらうために、システムをよく知ってもらう活動を運営協議会とともに進める。
- (2) 協議会と協力して生駒市以外の自治体に対しやまと西和ネット運営協議会への参加を促す。
- (3) やまと西和ネットの運用推進に向けて、医師会・市・市立病院等関係諸団体と連携する。
- (4) デジタル庁の発足と関連して厚労省が医療・介護情報連携をどのように進めて行こうとするか継続的に調査していく。

2. 昨年度の方針に対しての実績

担当者の個人的な理由により、外部へ働き掛ける活動は十分できなかった。

A 生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画案に対するパブリックコメント中に、厚生労働省が令和5年6月頃から進めている「全国医療情報プラットフォーム」による電子カルテ情報共有サービス(仮称)についてこれが「やまと西和ネット」と競合すると考えられるので、市としてどう対処するかを問い「やまと西和ネットの取り組みへの協力」を今後も続けていくのであれば施設参加時の初期導入費用と運用費用について援助するよう要望した。

B 総会方針(4)と関連して第5回理事会でこのプロジェクトの内容を次のように変更する提案をし承認された。

ITの医療への活用を考えるプロジェクト(略称IT-PJ)」

1 医療情報 2 医療現場での活用 3 医療保険(詳細は2024年度事業方針参照)

内容として厚生労働省の資料「電子カルテ情報共有サービス(仮称)について」(令和5年6月26日)を理事会に提示して議論を行った。また「画像診断ヒヤリハット」(m3.com連載のまとめ)という医療者の経験とAI診断が取り入れられたら状況が大幅に改善されるという文書を提示し、医療者側のメリットと患者側の考え方やメリットについて議論した。更に市立病院などとの懇談で市民として要望し病院側の考えをきくことを提起した。

尚2024年4月7日(日)のNHK日曜討論「いま考える どうする日本の医療」の中で武見厚労大臣は、かかりつけ医機能・診療所と病院の地域医療連携・オンライン診療など随所で医療DXを進めて国民の医療情報連携を進めると発言していた。

(1-2) LINE オープンチャット「生駒の医療介護相談室」チーム

<担当者>長島理事・磯部理事・三條場理事

<チーム名>第3回理事会(2023.8.26)で、当面「ラインオープンチャットチーム」という呼び名にすることで合意された。

<2023年度の活動総括>

1. 2023年度の総会方針は次の通り。

- (1) 利用者と投稿者を増やし市民の医療介護に関する疑問や心配や要望などが気軽に相談できる場として市民に活用されるにはどうしたらよいかを検討する。
- (2) 半年に1回チャットの内容をまとめて市立病院と生駒市に紹介し、市立病院の運営に役立ててもらえるようにする。

2. 昨年度の方針に対しての実績

- (1) 利用者と投稿者を増やすことについては検討できず、有効な手を打てなかった。
- (2) 投稿がほとんどなかったために内容を市立病院と生駒市に紹介することができなかった。
- (3) 投稿の中で介護に困っている人に、生駒市に新設された「いこまる相談窓口」を紹介するとともに、当会からこの「いこまる相談窓口」の担当部署である福祉政策課と懇談した。

「いこまる相談窓口」の2023年度実績については2024年4月にまとめの冊子が出ることを確認した。その内容については追って紹介する。

3. LINE オープンチャットの検討課題

(1) 投稿が続いていくために何が欠けていて何が必要かを考える。

- ①投稿者のラインへの登録が必要で、それが1つのネックになるので、もっと気軽にアクセスする方法はないか。
- ②相談や質問があった時にそれにこたえてくれる相手がいるのかいないのかが分からないので、相談してどうなるのか分からないのでは相談する気になれないのではないか。
- ③チャットの登録者の中に医療や介護の専門家がいて、相談や質問にこたえてもらえるかまたは後日チャットの運営者が専門家に聞いて答えを伝えるなどの手立てを講じることができれば、相談のし甲斐があると言えないか。
- ④本当に困ったことがあって相談したいと思う人は、相手が誰か分からない聞き手に対して相談する気になれないのではないか。
- ⑤その他

(2) 相談室に期待されるものは何かを考える。

- ①医療や介護での苦労話を聞いてくれる相手がいること。
- ②どうすればよいか分からない時に教えてくれる相手がいること。
- ③医療や介護の施設や担当者の対応や制度に不満があり、それを聞いてくれる相手がいること。
- ④制度や規則を改善してほしいとの思いや提案を聞いて、アドバイスをしてくれる相手がいること。

(2) ニュースやパンフレットの発行事業

- ①チラシの発行・・・らら♪まつりで発行（前述）
- ②ニュースレターの発行・・・なし。

(3) 公的機関・医療機関・公益団体などとの連携事業

(3-1) 市や県との連携

病院PJ(1/27)、介護PJ(7/21)で実施

(3-2) 市立病院との連携

病院PJ(2/4)で実施

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

①市医師会との連携：

- ・医師会代表が出席する病院事業推進委員会に伊木ま理事が委員として参加。委員会終了後に地域の医療について医師会代表と意見交換した。
- ・医師会との懇談 2024年2月、生駒市医師会事務長に医師会長・事務長との懇談を求め複数回連絡したが不在等のため相談できなかった。

②介護保険運営協議会を傍聴5回 長島理事他

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

(4-1) 当会独自の事業 会員学習会を予定したが、未実施

(4-2) 他団体との協働・連携

①医労連との懇談会・・・9/8

②地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウム・・・不参加

③生駒市SDGsアクションネットワークからの案内を会員に連絡するもイベントには不参加。

1-2. 団体の活動・状況について

(1) 国・県・市などへの報告書提出

- ①県への提出・・・7/7 事業報告書、役員変更届・役員名簿を提出
- ②市へ報告書を提出し、ららポート登録団体の登録を更新した。

(2) 会議等

① 2023 年度総会 7 月 1 日 (土) 13:30 -16

② 理事会

理事長・副理事長選任のための第 1 回理事会 (総会終了後) を含め 9 回開催。

第 3 回理事会 (8/26) において 理事会議事録は非公開に決定、総会に諮ることとした。

③ 忘年会 12/23

(3) 会員の動向

退会 1 人 7/1

入会 2 人 (2024 年 5 月 25 日現在 正会員 : 22+2? 賛助会員 : 団体 1)

(4) 会員の参加

① 会員及び賛助会員の積極参加

・ 理事会議事録及び会員連絡をメール・郵送にて会員に届け、適宜、各種事業への参加も呼びかけた。

・ 理事会の議事録作成を分担制にし、理事会が属人的な運営にならないように取組んだ。

② 会員を増やす努力を行う。・・・らら♪まつり等で働きかけを行った。

③ 会報「はぐくむ」の発行担当者の発掘には取り組めなかったため、「はぐくむ」は発行できなかった。

(5) ホームページ

担当 伊木雅之理事

・ 総会議案書・総会議事録の掲載、らら♪まつりイベントの案内をした (7/26・31、1/27)。

(6) フェイスブックの活用

管理者 奥田理事、担当 奥田・湯川理事

理事多忙のため、フェイスブックの活用は十分に行えなかった。

その2. 2023 年度事業収支報告及び決算

2-1. 2023 年度決算書 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(1) 貸借対照表

2024 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

| 科目 | 金額 | 備考 |
|--------------|-----------|---------------------|
| I 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金預金 | 2,582,025 | 三井住友銀行 生駒支店 普通預金 |
| 現金 | 1,161 | |
| 流動資産合計 | 2,583,186 | |
| 2. 固定資産 | | |
| (1) 有形固定資産 | 0 | |
| (2) 無形固定資産 | 0 | |
| (3) 投資その他の資産 | 0 | |
| 固定資産合計 | 0 | |
| 資産合計 | 2,583,186 | |
| II 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | 0 | |
| 2. 固定負債 | 0 | |
| 負債合計 | 0 | |
| III 正味財産の部 | | |
| 前期繰越正味財産 | 2,473,873 | 利子 22 円 |
| 当期正味財産増減額 | 109,313 | |
| 正味財産合計 | 2,583,186 | |
| 負債及び正味財産合計 | 2,583,186 | |

(2) 2023 年度事業収支決算書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

| 科 目 | 金額 | 金額 | 摘要 |
|--------------------------------|----------------|----------------|--|
| 経常収支の部 | 予算額 | 収入額 | *詳細は会計明細表に記載 |
| 経常収入 | | | |
| 1 会費収入 | 55,200 | 55,200 | 正会員 52,800 円(2023 年度会費 : 2400×22=52,800 円. 2021 年度に納付 1 名) / 2022 年度会費 : 2,400 円 |
| 2 事業収入 | 5,000 | 120,000 | 賛助会員 120,000 円 |
| 3 補助金・寄付金等収入 | 0 | 0 | |
| ①補助金収入 (2018 年度 自主学习) | 5,000 | 0 | |
| ②寄付金収入 | 0 | 0 | |
| 経常収入合計 | 65,200 | 175,200 | |
| 経常支出の部 | 予算額 | 支出額 | |
| 1 事業費 | | | |
| 1 地域医療のための調査研究、提言などの事業 | 118,000 | 21,950 | 1, 2 をまとめて報告 |
| 2 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業 | 245,000 | | 会議費 400 (どこでも講座) 印刷製本費 5,550(ららまつり) 交通費 16,000(市外在住者分) |
| 3 地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業 | 144,000 | 0 | |
| 4 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業 | 40,000 | 2,310 | 自主学习グループフェスタ用印刷製本費 450 及び 消耗品費 420 交通費 1,440(自主学习グループ関係) (市外在住者分) |
| 5 その他、本法人の目的を達成するために必要な事業 | 10,000 | 0 | |
| 事業費合計 | 557,000 | 24,260 | |
| 2 管理費 | 予算額 | 支出額 | |
| 役員・職員の報酬 | 0 | 0 | |
| 事務所費 | 4,000 | 2,071 | ホームページサーバー1,571・印刷・電話・FAX 使用料など 500 |
| 消耗品費 | 10,000 | 965 | 封筒 |
| 通信運搬費 | 30,000 | 8,246 | 総会・会員連絡用郵送料 |
| 交通費 | 20,000 | 6,000 | 県外理事交通費補助 |
| 印刷製本費 | 10,000 | 1,315 | 総会・理事会資料 |
| 会議費・雑費 | 10,000 | 23,052 | 総会会場費 3,140・県・法務局提出用書類 750 |

| | | | |
|-------------------------|-----------------|----------------|--------------------------|
| | | | ZOOM 会議システム使用料 19,162 |
| 管理費合計 | 84,000 | 41,649 | |
| 3 予備費 | | | |
| 予備費合計 | 100,000 | 0 | |
| 経常支出合計 | 741,000 | 65,909 | |
| 経常収支差額 (A) | -675,800 | 109,291 | |
| Ⅲ その他資金収入の部 | | | |
| 1 前年度繰越金 | 2,473,873 | 2,473,873 | |
| 2 利息 | 20 | 22 | |
| その他の資産収入合計 | 2,473,893 | 2,473,895 | |
| Ⅳ その他資金支出の部 | | | |
| 1 固定資産取得支出 | 0 | 0 | |
| その他の資産支出合計 | 0 | 0 | |
| その他収支差額 (B) | 2,473,893 | 2,473,895 | |
| 当期収支差額 (A) + (B) | 1,798,093 | 2,583,186 | |
| 次期繰越収支差額 | 1,798,093 | 2,583,186 | |

会費を銀行振込にて納入される方は、下記の口座をお願いします。

三井住友銀行 生駒支店 普通預金 4101175 特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

2-2. 2023 年度会計監査報告書

監査報告書

特定非営利活動法人
生駒の地域医療を育てる会
理事長 奥田 陽子様

2024年4月19日
特定非営利活動法人
生駒の地域医療を育てる会
監事 宮内正康

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2023年4月1日から2024年3月31日までの会計について、下記の関係書類により監査いたしました結果、その内容は正確であったことを報告します。

○2023年度事業収支決算書

○会計明細表

○収入・支出関係書類

○預金通帳

三井住友銀行 生駒支店
預金種別 普通預金
口座番号 4101175
名義 特定非営利活動法人 生駒の地域医療を育てる会

以上

第 2 号議案 ・ ・ 2024 年度事業及び事業収支予算

<特記事項> 2025 年 6 月をもって 10 周年を迎える生駒市立病院について

設立前から現在まで関わりを持ってきた生駒市立病院が、めでたく 10 周年を無事迎えることができれば大きな喜びです。しかしながら単なる打ち上げ花火的なイベントを開催することは考えていません。なぜならば安心安全な生駒市の医療や介護・福祉を実現するための途上にあり、課題は山積しているからです。

これまでの 10 年を振り返りつつ、この先の 10 年、そしてその先の生駒市の医療を考える 1 年間とします。具体的には医療や介護に関する市民の関心を醸成します。そして市民が、自身が望む生駒市の医療や介護の未来を描くために市民同士が考えたり話し合ったりする場をつくりまします。生駒市、生駒市立病院、生駒市医師会、市民がフラットな場でオープンに対話できる場を作ることは、当 NPO だからこそできる活動だと考え、多くのステークホルダーを巻き込み具現化していきます。

その 1. 2024 年度事業方針及び予算

1-1. 2024 年度事業方針

(1) 調査研究、提言などの事業 及び見学会、学習会、講演会などの事業

(1-1)プロジェクトチーム(PJ)による活動

(A)「生駒の未来につながる健康・医療プロジェクト」(略称)健康・医療 PJ

<2024 年度の活動方針>

これまでの活動を進展させるべく、生駒市と協働で下記①～③をどのように進めるか検討する。

- ①市民の当事者意識の醸成と意見の聴取（下記を全体で 3 回程度）
 - ・生駒市地域医療課との協働で地域医療や医療に関わる関連施策（健康づくり・健診検診・介護・福祉・防災など）をテーマにおしゃべりサロンやワールドカフェを企画、実施する。
 - ・生駒市医師会へ講師をお願いして、上記を進める。
 - ・生駒市地域医療課、生駒市立病院地域連携室と連携してもしバナゲームの実施
- ②地域医療に関する国や県の取組・方向性について情報を収集し、地域医療のあるべき姿を考える →①のテーマとして盛り込む
- ③市民・市・医師会・市立病院との対話 →①を実施する中で促進される。

(B)「生駒の地域医療・在宅医療・介護・かかりつけ医を考えるプロジェクト」(略称:介護 PJ)

<PJ の名称> 生駒の在宅医療介護を考えるプロジェクト(略称:介護 PJ)とする。

<2024 年度の活動方針>

(1) 介護人材の確保へのはたらきかけ

第 9 期介護保険事業計画が策定されその実施に向けた施策が実行に移されていく中で、特に介護を担う職員の確保が喫緊の課題となる中、当 PJ としては次の 2 つの点に重点を置いて追求していきたい。

- ①介護人材の数的把握と将来の予測をつかみ、どれだけの人材が不足し、確保しなければならぬのかを生駒市が把握することを促す。・・・これまでの当会の実績の上に立って生駒市と協議を重ね、必要な数的把握ができるまで努力する。
- ②必要な人材の数的把握の上に立って、それだけの人数を確保するにはどうすれ

ばよいかを検討する。・・・第9期介護保険事業計画の施策だけでは必要な人材確保はできないことを生駒市に示し、現実の問題の洗い出しと人材確保のために何が必要かについて、行政・市議会・介護事業者・介護従事者・専門家・市民などによる協議の場を設けて、忌憚のない意見を出し合い、必要な人材を確保する方策をみんなで考えることを生駒市・生駒市議会に提案し、その実現に努力する。

※この介護人材確保についての協議の場が生駒市・生駒市議会と当会の共催として実現できれば、生駒市立病院開院10周年を準備するプレイベントとしての意義を持つものとなるので、生駒市にそのことを伝え、PJの活動にとどまらず当会全体の活動と位置づけたい。

(2) 在宅医療と介護のネットワークの前進への取り組み

①医療分野では国や県段階での調査や実態把握にゆだね、市町村段階での取り組みに限界を設けている現状について、それでいいのかを問い、市としてできることを広げられるように提言していく。また、これまで医師会等の受け持ち範囲とされてきた医療従事者の実態把握については介護分野で行ったアンケート調査に倣って、市と医師会が共同で取り組むことができるように、市や医師会に対して提言を行う。

②医療と介護の連携の具体的な方策として、当会「ITの医療への活用を考えるPJ(略称IT-PJ)」と協議して以下試行する。やまと西和ネットの参加医療機関と介護施設によるコミュニケーションボードの試行をやまと西和ネット事務局に打診し、実現可能ならばやまと西和ネットとともに実施対象医療・介護施設に依頼してコミュニケーションボードの試行を実施する。

(3) 「総合事業」について

中地区での地域住民の自主的な介護支援の活動状況の把握から始め、当会で出来ることを見極めながら取り組む。

(C) ITの医療への活用を考えるプロジェクト(略称IT-PJ)

<担当者> 長谷川理事

1 下記のテーマについて調査を進め、メリット・デメリットなど会員間の議論や学習を通じて会員のヘルスリテラシーを高める。

また医療者側との懇談を通じてITの利用について共通理解を深め、良い医療の実現に資する。

(1) 医療情報

ナショナルデータベース 電子カルテの標準化 利用(個人情報の地域連携、統計処理により研究へ利用) 安全性(情報漏洩対策 クラウドによる災害時データ喪失対策)

個人の利用(ヘルスレコード レセプト情報閲覧 電子処方箋)

(2) 医療現場での活用

AI診断(画像 病名導入) 病棟(遠隔監視 自動記録 携帯端末の利用 コールシステム)

経営情報(外来待ち時間の患者への通知) 診療予約システム 調剤システム(病院、薬局 自動調剤技術) 遠隔(在宅)診療 かかりつけ医機能のグループ化

(3) 医療保険

マイナンバーカードによる個人認証(マイナ保険証)、レセプト(申請 統計処理によるエビデンス導き) 保険者による被保険者への指導・啓発 医療給付制度設計

(4) 介護現場での活用

ロボット センサー 遠隔監視 自動記録 携帯端末の利用

科学的介護情報システム LIFE

(Long-term care Information system For Evidence)

- 2 やまと西和ネット業務が推進される状況になれば、やまと西和ネット協議会に協力して情報共有同意者や参加施設の増大に努める。

(1-2) ラインオープンチャットチーム

- (1) ラインオープンチャットが、利用者と投稿者を増やし市民の医療介護に関する疑問や心配や要望などが気軽に相談できる場として市民に活用されるために、現在の方法を継続する中で今後の対策も含めて検討する。
- (2) 現状では半年に1回チャットの内容をまとめて市立病院と生駒市に紹介し、市立病院の運営に役立ててもらえるようにすることは困難であり、今年度は見送ることとする。
- (3) 生駒市の「いこまる相談窓口」の2023年度実績を入手して内容を検討し、そこから参考になることをつかみだし、市民の医療介護の相談窓口としてうまく機能するには何が必要かを考える。
- (4) 市民が相談する「場」はどんなところ、どんな相手が良いかについても考えたい

(2) ニュースやパンフレットの発行事業

- ①当 NPO の活動によって得られた情報を広く社会に提供する。
- ②チラシやニュースレターを必要に応じて発行する。

(3) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業

(3-1) 市や県との連携

- ①コロナを経験した後の総括と今後の感染症対策について検討を依頼する。
- ②生駒市の災害時などの危機管理体制について・・・取り組み方法を検討する。
- ③生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、生駒市介護保険運営協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議などを傍聴する。
- ④生駒市自主学习グループフェスタ・・・参加が必要と判断した場合、再度参加を申請する。
- ⑤生駒市市民活動推進センター ららまつり・・・参加する。
- ⑥生駒市の SDGs アクションネットワーク・・・参加する。
- ⑦PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-2) 市立病院との連携

- ①2025年6月で市立病院開院から満10年となる。10周年記念事業を予定している市立病院と市と連携した取組を進める。
- ②上記の連携は、各PJ関連にも協力を求める

(3-3) 医師会、医療・介護事業所などとの連携

- ①医師会・医療介護事業所等と意見交換を行い、認識を共有する。
※2024年4月9日、市立病院が市と地区医師会に入会したので、連携が進むことが期待される。
- ②PJ 関連についてはそれぞれの PJ の活動方針に示す。

(3-4) 地域医療を守り・育てる住民活動 全国シンポジウムへの参加

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

(4-1) 他団体との協働・連携

- ①医労連との懇談
- ②地域との連携・協働の取組・・・PJの活動を通じて連携・協働を追求する。

(4-2) その他

1-2. 団体の活動・状況について

(1) 国・県・市などへの報告書提出

- ①県への提出・・・役員変更届・役員名簿を提出する。
- ②国からの回答要請・・・経済センサス・活動調査等に適宜回答する。

(2) 会議等

- ①理事会・・・原則として月に1回第4土曜日に開催する（ZOOM会議やリアルなど）。議事録作成者は原則として当番順に従い議事録書式に従って作成する。
- ②忘年会等
- ③総会・・・来年度のできるだけ早い時期に開催する。

(3) 会員の参加

- ①会員及び賛助会員の積極参加を促し、各種事業に参加する会員を増やす。
- ②会員を増やす努力を行う。
- ③会報「はぐくむ」の発行については、担当者の発掘が必要で今年度にはできるかどうかは不明。

(4) ホームページ

- ①2024年度総会后できるだけ早期に2024年度の理事長挨拶、事業計画、会計報告を掲載する。
- ②会から市民への発信事項、会の行事の予定、その他会の活動趣旨に関連ある情報等を随時掲載する。
- ③総会議案及び議事録をホームページに掲載する。理事会議事録については2019年度第2回理事会にてホームページに掲載することを決定したが、昨年度の総会でこの決定を保留とし、再度理事会で検討することとなった。2023年度第3回理事会(8/26)で非公開にすることを決定、この理事会決定を本総会で承認する。
- ④ホームページへのアクセス数をカウントできる設定を検討する。

その 2. 2024 年度事業計画及び予算

2-1. 2024 年度事業予算案

(1) 地域医療のための調査、企画立案、提言及び見学会、学習会、講演会などの事業

合計 173,000 円

用途

- ①病院 PJ に係る取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58,000 円
 - チラシ・ニュースレター印刷代 18,000 円
 - 講師謝礼 (3,000 円～5,000 円) × 3 回 = 15,000 円
 - イベント実施雑費 (お菓子、文房具など) 10,000 円
 - 会場費 5,000 円 × 3 回 = 15,000 円
- ②介護 PJ に係る取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100,000 円
 - 介護人材確保のための協議会関連費用 100,000 円
- ③IT-PJ に係る取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,000 円
 - 交通費 5,000 円
- ④ラインオープンチャットチームに係る取組・・ 10,000 円
 - チラシ発行・説明会 10,000 円

(2) ニュースやパンフレットの発行事業

合計 100,000 円

(3) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業

合計 100,000 円

用途

- ①市立病院 10 周年記念に係る事業
- ②市や県の会議の傍聴提言
(生駒市立病院事業推進委員会、生駒市立病院管理運営協議会、県医療審議会、生駒市医療介護連携ネットワーク協議会、西和構想区域地域医療構想調整会議など)
- ③医師会、医療・介護事業所などとの懇談 (PJ・チームで実施分は除く)
- ④市民活動推進センターとの連携事業
- ⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加

(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

合計 10,000 円

用途

- ①医労連との懇談
- ②その他

2024 年度総事業費合計・・・・383,000 円

2-2. 事業計画書

特定非営利活動に係る事業

2024年4月1日～2025年3月31日まで

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施予定日時 | 実施予定場所 | 対象者 | 支出見込額(千円) |
|---|--|--------|----------------------|-----------------|---|
| (1) 地域医療のための調査、企画立案、提言などの事業 (2) 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業 | ①健康・医療PJに係る取組 ②介護PJに係る取組 ③IT-PJに係る取組 ④ラインオープンチャットチームに係る取組 | 適宜実施 | 主として市内の公共施設等、テーマ毎に適宜 | 会員・市民・県民など | <u>173</u> ① 58 ②100 ③ 5 ④ 10 |
| (3) ニュースやパンフレットの発行等事業 | (1) (2) (4) などの予定や結果を広く社会に提供する | 適宜実施 | | 市民・県民など | <u>100</u> |
| (4) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業 | ①市立病院10周年記念に係る事業 ②市や県の会議の傍聴提言 ③医師会、医療・介護事業所などとの懇談 ④市民活動推進センターとの連携事業 ⑤地域医療を守り・育てる住民活動全国シンポジウムへの参加 | 適宜実施 | テーマ毎に適宜 | 会員・市民・県民、地域住民など | <u>100</u> |
| (5) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業 | ①医労連との懇談 ②その他 | 適宜実施 | テーマ毎に適宜 | 会員・市民・県民など | <u>10</u> |

合計 383千円

2-3. 2024 年度事業予算書 (2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

| 科 目 | 金 額 | | |
|----------------------------------|-----------|---------|-----------|
| 経常収支の部 | | | |
| I 経常収入 | | | |
| 1 会費収入 | | | |
| 年会費 | | | |
| 正会員：2,400 円/人×(23+2 人) 新入会員 2 人 | 60,000 | | |
| 賛助会員 | 120,000 | 180,000 | |
| 2 事業収入 | | | |
| 3 補助金・寄付金等収入 | | | |
| ①補助金収入 | | | |
| ②寄付金収入 | | | |
| 経常収入合計 | | | 180,000 |
| II 経常支出の部 | | | |
| 1 事業費 | | | |
| (1) 地域医療のための調査、企画立案、提言など事業 | 173,000 | | |
| (2) 地域医療のための見学会、学習会、講演会などの事業 | (1) (2) | | |
| (3) 地域医療のためのニュースやパンフレットの発行などの事業 | 100,000 | | |
| (4) 地域医療のための公的機関・医療機関・公益団体との連携事業 | 100,000 | | |
| (5) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業 | 10,000 | 383,000 | |
| 2 管理費 | | | |
| 役員・職員の報酬 | 0 | | |
| 事務所費 (ホームページ・印刷・電話代等を含む) | 4,000 | | |
| 消耗費 | 10,000 | | |
| 通信費 | 20,000 | | |
| 交通費 | 20,000 | | |
| 印刷製本費 | 10,000 | | |
| 会議費・雑費 (ZOOM 会議システム使用料含む) | 30,000 | 94,000 | |
| 3 予備費 | 100,000 | 100,000 | |
| 経常支出合計 | | | 577,000 |
| 経常収支差額 (A) | | | -397,000 |
| III その他資金収入の部 | | | |
| 1 前期繰越金 | 2,583,186 | | |
| 2 利息 | 22 | | |
| その他の資産収入合計 | | | 2,583,208 |
| 1 固定資産取得支出 | 0 | 0 | |
| その他の資産支出合計 | | | 0 |
| その他収支差額 (B) | | | 2,583,208 |
| 当期収支差額 (A) + (B) | | | 2,186,208 |
| 次期繰越収支差額 | | | 2,186,208 |

備考

2024 年度の役員

役員任期は2年（定款第16条）となっており、次の役員選任は来年度です。
2024年度の役員は前年度と同じで下記の通りです。

- 理事長・・・奥田陽子
- 副理事長・・・伊木雅之、長島稔
- 理事(50音順)・・・伊木雅之、伊木まり子、石堂吉輝、磯部良和、奥田陽子、熊谷江利子、三條場裕紀、長島稔、長谷川惇、湯川直紀
- 監事・・・宮内正厳